

令和4年(2022年)11月15日(火曜日)

自民議連、三島の「歩く環境」を視察

健康寿命の延伸促進

健康寿命の延伸に向けた自助、共助を促進する自民党ヘルス&コミュニティ議員連盟(上川陽子会長)と衆院静岡1区)は14日、官民連携の健康増進施策「スマ



源兵衛川の飛び石を渡る上川陽子会長(左)ら議連メンバー三島市

ートウエルネスみしま」を展開する三島市を視察した。上川会長や若林洋平氏(参院静岡選挙区)ら衆参議員6人が市の取り組みについて説明を受けたほか、市内のせせらぎを巡るウォーキングコースも歩いた。

富士山からの湧水が豊富な司市では源兵衛川や地域花壇を生かした「歩きたくなる環境づくり」を進め、スタンプラリーや健康ポイントの付与など多様な取り組みを続けている。グループで脂肪の燃焼量を競い、優勝チームに同量の牛肉をプレゼントするユニークな大会も開催。事業内容と成果を説明した豊岡武士市長は「健康増進はストイックになりがちだが、楽しく続ける仕掛けが重要」と述べた。

ウォーキングでは三嶋大社から市立公園の楽寿園に向かい、源兵衛川の飛び石を渡るコースを歩いた。透き通る清流や白い花を咲かせる水中花ミシマバイカモなどを見ながらゆつくりと進み、写真を撮ったりして散策を楽しんだ。上川会長は「自然や歴史的な資源が日常の中で親しまれ、大切にするのが健康寿命にもつながっている」と語った。

同議連は全国の衆参議員54人で構成している。